

特別展

# 小倉遊亀

慈愛の  
まなざし

2013年  
3月9日[土] - 5月6日[月・休]

休館日：会期中無休

開館時間：午前10時 - 午後5時（入館は午後4時30分まで）

観覧料：一般800(600)円、大高生500(400)円、中学生以下無料

※( )内は20名以上の団体料金

主催：公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社

協力：滋賀県立近代美術館、有限会社鉄樹

 香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

〒658-0048 神戸市東灘区御影部家2丁目12-1 TEL.078-841-0652

<http://www.kosetsu-museum.or.jp/>



姉妹 1970年 滋賀県立近代美術館蔵



童女入浴 1925年 滋賀県立近代美術館蔵



瓶花 1972年 滋賀県立大津高等学校同窓会蔵



散華 原画「如来」1995年 法相宗大本山 薬師寺蔵

おぐら ゆき

小倉遊亀(1895〔明治28〕年、大津市生まれ)

は、奈良女子高等師範学校卒業の後、名古屋や横浜などで教鞭をとるかたわら安田鞞彦やすだゆきひこに師事。1936〔昭和11〕年からは画業に専念し、以後2000〔平成12〕年7月に105歳で亡くなるまで、女流画家の先駆者として活躍しました。小倉遊亀の作品は、身近なものを題材としたものが多く、その澄んだ色づかいと



花屑 1950年 滋賀県立近代美術館蔵



つかのま 1983年 個人蔵

特別展

# 小倉遊亀

## 慈愛のまなざし

快活な描写には東洋的な中にも近代的な表現が見られます。本展では、初期から晩年に至る画業の中から、野花や台所の野菜にまでも、いきいきとした生命の輝きをとらえた作品約60点を中心に、慈愛に満ちたまなざしを探ります。また、下絵や画中に登場する器類など関連資料を併せて展覧します。

主な出品

- 縮緬 流水に躑躅花文様描繪帯 大正～昭和初期 滋賀県立近代美術館
- 童女入浴(大下絵) 1925年 滋賀県立近代美術館
- 八重椿 1947年 個人蔵
- ホトトギス 表紙絵 鱈 1957年 虚子記念文学館
- 姉妹(大下絵) 1970年 滋賀県立近代美術館
- 散華 原画「杜若」 1971年 法相宗大本山 薬師寺
- 盛花 2000年 滋賀県立近代美術館
- 呉須赤絵鉢 滋賀県立近代美術館 ほか



『細雪』挿絵 平安神宮の花見 1970年頃 滋賀県立近代美術館蔵

### ギャラリートーク

会期中の毎週土曜日、午後2時から学芸員によるギャラリートークを行います。  
※ただし、3月30日(土)をのぞきます。

### 記念講演会

日時:3月30日(土)午後2時から  
講師:國賀由美子氏  
滋賀県立近代美術館・主任学芸員  
先着50名(当日午前11時より整理券を配布)

※ギャラリートーク、講演会の聴講は無料ですが、別途展覧会の鑑賞券が必要です。

## 香雪美術館

KOSETSU MUSEUM OF ART

〒658-0048 神戸市東灘区御影郡家2丁目12-1  
Tel:078-841-0652  
HP:<http://www.kosetsu-museum.or.jp>

[交通案内]

阪急「御影」駅より東南へ徒歩5分  
JR「住吉」駅より北西へ徒歩15分  
阪神「御影」駅より市バス19系統「阪急御影」下車徒歩5分



次回展 香雪美術館 開館40周年記念名品展「室町から江戸の絵画」2013年5月18日(土)～7月7日(日)